

建設CALS/EC 講習会開催について

平成13年11月12日(月)

積算委員会

11月12日:13時~17時にかけて、仙台市のハーネル仙台にて上記講習会を開催しました。講師には、全地連情報化委員の中田文夫・丸山昌則の両氏を迎え、50社延べ84名の方々が、出席されました。国土交通省を始め各発注機関では建設CALS/ECの構築を急ピッチで進めており、このため各社とも待ったなしの対応を迫られていることから、出席者は講師の方々の話に熱心に聞き入っていました。

講習内容は

「電子納品の動向と対応策(How to 電子納品)」の表題のもと、以下の三部構成にて話が進められました。

第1部:建設CALS/ECの動向

第2部:電子納品の概要と各容量(案)

第3部:各容量に基づいた調査報告書の
作成方法

講習会を受講した出席者の方々の感想は、電子納品の導入準備をしようとする、各社とも費用がかかるということ。また、電子納品に関する打ち合わせを役所の担当者として業務着手時に行い、内容を決め了解をもらっておかないと、あとから追加が出てきて大変なことになる。そのためにも初回打ち合わせに主導権を握り、業務を進めていくことが大切であること等々の意見が多く聞かれました。

今回は、紙資料とパワーポイントを用いて講習会を行いました。次回の講習会では、出席者がパソコンを持ち込んでの、より実践的な講習会開催を企画しています。これにより、電子納品化に対する会員の方々の対応力強化を図っていきたく考えています。

